

世界のコレラ、下痢症の流行状況

2011年1月18日 ProMED 情報

(1)ハイチ[The Gazette (Montreal,Agence France-Presse(AFP)report]

1月13日の政府統計によると、流行が確認された昨年10月中旬から本年1月7日までのコレラ死亡患者数は3,759名になりました。前週の報告と比べ100名以上の増加ですが、減少しています。総感染者数は病院で治療を受けた101,000名を含む181,000名になりました。

保健省の統計によると、本年1月1～7日の一日平均の死亡患者数はおよそ17名で、流行開始後最も低い数字でした。12月27日には70名以上の死亡患者が報告され、12月19日には105名以上の高い死亡患者を報告しました。1月13日現在、コレラによる死亡率は2.1%です。

(2)ドミニカ共和国[Fox News Latino,Associated Press(AP)report]

保健担当者は、おそらく同国の国境地域に沿った運河、川、および灌漑用水路の水がコレラに汚染されたことで数十名の患者が発生したと報告しました。保健省によると、調査された患者146名の約60%が汚染された水と関連性がありました。総患者数は154名です。死亡患者は報告されていません。

患者の半数以上は、ハイチ国境のコレラに汚染された2つの川に沿った州で報告され、川の1つは、ハイチから流れてきているアルティボニット Artibonito 川です。

(3)ハイチ、ドミニカ共和国、PAHO[Pan American Health Organization(PAHO)]

ハイチでは、疫学週報52週目(2010年12月26日～2011年1月1日)、北部の2地域と南の地域でコレラ発生率が減少しています。

ドミニカ共和国では、コレラ患者154名が報告され、全国31州のうち13州で発生しました。患者の66.9%は入院しました。

(4)ナイジェリア(ニジェール州 Niger State)[Leadership (Abuja)]

ニジェール州のLavunとEdatiの地方政府地域でのコレラ死亡患者数が8名から13名に増加しました。責任者によると、死亡患者はEdati地域のTama-Nku村で7名、Lavun地域のSaachi村で5名、Danchitagi村で1名発生しました。また、カドゥナ Kaduna 川が主な汚染源の可能性があるので、川沿いの村に使用前に水を常に処理して煮沸するように地域住民に呼びかけました。

(5)モザンビーク[AllAfrica,Mozambique News Agency(AIM)report]

2010～2011年の雨期に、これまでコレラの流行は同国11州のうち3州で記録され、患者126名が診断されました。1月13日までに、患者54名が北部のCabo Delgado州、患者45名がナンプラ Nampula 州、患者27名が中部のマニカ Manica 州で確認されました。死亡患者は報告されていません。

(6)ジンバブエ(マスビンゴ Masvingo)[Radio Voice of the People (VOP)Zimbabwe]

Bikita で、患者60名と死亡患者4名が報告されました。同州の医療責任者は、死亡したのは、Nyika Growth Point 出身の子供2名、男性1名、および女性1名でした。

(7)パプアニューギニア(Port Moresby) [ABC News(Australian Broadcasting Corporation)]

保健当局によると、昨年12月に同国の首都ポート・モレスビーでコレラ重症患者295名が発生しました。また本年1月、これまでに死亡患者1名を含む患者138名が発生しています。

(8)パプアニューギニア(中部州 Central province) [The National]

中部州保健当局によると、昨年のクリスマスと正月の間にAbau地区のMailu島から死亡患者5名が発生しました。1月3日の週に、軽い下痢症状の患者を含む患者44名が入院治療を受けました。

(9)インド(マハーラーシュトラ州) [The Times of India,Times News Network(TNN)]

同州ムンバイ市のBandraにあるBabha病院の医師によると、子供12名の検便からコレラ菌が確認されたそうです。同市では最近の2週間で、およそ200名の下痢患者が治療を求めており、同病院では最近の10日間で100名以上の下痢患者を治療したそうです。